

社会貢献活動を企業文化に

ジャトコグループは、地域社会に愛される「よき企業市民」となることを目指しています。企業活動は地域社会との
かかわりの中で営まれるため、ジャトコはコミュニティの一員として積極的に社会とかかわり、さまざまな形で地域社
会に貢献することが重要な責務と考え、社会貢献活動を推進しています。

活動の3つの重点分野

「地域社会から『ジャトコがあって良かった』と言われる存在でありたい」という思いをもとに、ジャトコグループは
「環境」「教育」「福祉」を3つの重点分野とし、世界中で社会貢献活動を展開し、それぞれの地域ニーズにあった活動に
取り組んでいます。



教育への貢献活動

キッズエンジニア

公益社団法人自動車技術会が主催する「キッズエンジニア」は、小学生を対象に、モノづくりの楽しさを伝えるイベントです。ジャトコはこのイベントの趣旨に賛
同し、2008年の第1回から参加しています。

2021年はコロナ禍で実地開催が中止となりましたが、やり方や内容を工夫して、リモートでクルマづくり
のプログラムを実施しました。



自動車技術会主催の「キッズエンジニア」

中・高校生の体験学習

地域の中・高校生を対象に、開発から生産まで幅広い
職場で体験学習を受け入れています。CADの操作体
験、実験設備の見学、未来技術センターでの先進技術
体験、工場見学、工場の作業体験を通じて、自分が将来
どんな仕事に就きたいか、進路選択を考えるお手伝い
をしています。



中・高校生の体験学習

※2021年度は新型コロナウイルスの影響に伴う活動自粛のため、写真の一部はそれ以前のもとなります

環境への貢献活動

花咲く*ジャトコ前駅プロジェクト

ジャトコ富士第1地区の最寄り駅「ジャトコ前」駅は、富士市内を走る岳南電車の駅で、全国でも数少ない企業名を冠する駅のひとつです。本プロジェクトは「ジャトコの名を冠する地元の駅を花の名所にしたい」という従業員の声をきっかけに、2015年度から継続し、また、芝桜の装飾を施したラッピング電車を走らせて、町を明るく元気にするお手伝いをしています。植えられた草花は、地域の皆さまと一緒に、日々手入れを行っています。



岳南電車の「ジャトコ前」駅に芝桜を植え付け

世界農業遺産 静岡の「茶草場農法」支援

掛川市東山の茶園では、世界農業遺産に認定されている「茶草場農法」でお茶の生産を実施しています。茶草場農法とは、豊かな生物多様性を育み、環境と共生する伝統的手法で、ジャトコでは掛川茶振興協会や掛川市役所のご協力の下、毎年1月頃にこの茶草場農法の作業応援ボランティアとして、ススキやササを刈り取り、茶木の間に敷き詰める一連の作業のお手伝いをしています。



ススキやササを茶木の間に敷き詰める作業

福祉への貢献活動

知的障がい者のサッカー大会

知的障がいを持ったサッカー選手たちは、練習の成果を発揮するチャンスが限られています。そこでジャトコは、横浜F・マリノスと共同で、「ジャトコ×横浜F・マリノスフットーロカップ」を2015年度から開催してきました。2021年度は残念ながら大会が中止となりましたが、多くの知的障がい選手とそのチームが、本大会への出場を目標とし、改めてサッカーの楽しさを知るきっかけになるよう、サポートを続けます。



ジャトコ×横浜F・マリノスフットーロカップ

電動車椅子サッカー大会

筋ジストロフィーや脳性麻痺等により自立歩行できない重い障がいのある選手が、電動車椅子に乗って競い合う電動車椅子サッカー。ジャトコは2019年度に横浜F・マリノス主催の大会に参加してから、技術を活かしたサポートをしています。選手が足の代わりに使うフットガードの脱着を行うジャトコビットの設置を始め、電動車椅子の性能の改善にも取り組んでいます。今後もジャトコの技術を活かしたサポートを継続していきます。



電動車椅子サッカー大会

※2021年度は新型コロナウイルスの影響に伴う活動自粛のため、写真はそれ以前のものとなります